

Splunkでオブザーバビリティを実現

マルチクラウドからマイクロサービス、サーバーレスまで、スタック内のどこであってもインシデントをすばやく見つけて分析し、解決して、MTTRを短縮すると同時に、パフォーマンスの高いアプリケーションと最高レベルのカスタマーエクスペリエンスを提供。

今日のアプリケーションが抱える課題

イノベーションとソフトウェア開発の短期化が求められる中、アプリケーションの開発および運用方法が大きく変化しています。マイクロサービスアーキテクチャ、流動的なクラウドインフラ(コンテナ、Kubernetes、サーバーレス関数など)、アジャイルなDevOpsモデルの登場によって、スピードが速まると同時に、システムがより動的に変化し予測不可能になったために複雑さも増えています。統合されていない従来型の監視ツールではもはや、リアルタイムの可視化、スマートなアラート生成、迅速なトラブルシューティングなどの最新のデジタルビジネスをサポートするために必要なスピード、拡張性、分析機能を提供できません。

レガシー監視ツールでの作業は、以下のような理由から難しいのです。

・ 不十分なデータ

監視ツールの多くは、データをサンプリング(または破棄)したり、取り込むデータの構造に制限を加えたりします。しかし、これでは、ユーザーにとっても分析アルゴリズムにとっても重大なデータ上の盲点が生じてしまい、顧客に影響が出る問題を見逃したり、問題の解決を長引かせることになりかねません。また、エフェメラルなクラウドベースの環境では、根本原因分析やレトロスペクティブの実行に際しサンプリング手法では可視性が十分得られない可能性があります。さらに、ほとんどのレガシープラットフォームは、端的に、最新のアプリケーションから出力される膨大なデータを取り込むことができません。

・ 低いパフォーマンス

マイクロサービスアーキテクチャでは、相互の連携や関係が複雑です。コンテナは数分のうちに起動と終了を繰り返し、サーバーレス機能は、秒単位で呼び出されます。このスピードと規模で動作し、トラフィックの急増にすばやく対応できるように設計されていない監視ツールは、問題を検出し損ねる可能性があり、効果的ではありません。

・ インテリジェンスの欠如

最新のアプリケーションは多数のマイクロサービスで実行されるため、各トランザクションから大量のデータが生成されますが、ほとんどの監視ツールには、データに関連するコンテキストを追加するようなインテリジェンスが組み込まれていません。また、あらかじめ用意されている設定で使用した場合、生成されるアラートが多すぎて、何が本当に問題なのかを突き止めるのに多くの人員と時間を要します。

・ 多すぎるツール

レガシーツールは最新のアプリケーション環境を想定して設計されていないため、オペレーションに関するインサイトを得るには複数のツールを導入しなければならないことがよくあります。その結果、ツールが分散し、データのサイロ化やワークフローの分断につながるだけでなく、追加のトレーニングや運用コストも必要となります。

組織を成功に導くSplunkの支援 (DevOpsエンジニア、SRE、他多数) :



製品の提供を加速

ソフトウェアデリバリープロセスと市場投入までの時間を短縮し、ビジネス目標をより迅速に達成できます。



カスタマーエクスペリエンスと顧客維持率の向上

問題をすばやく見つけて解決することで、ダウンタイムを削減し、緊急会議を開くことなく、パフォーマンス、カスタマーエクスペリエンス、満足度を向上させることができます。



運用効率とTCOを改善

オブザーバビリティのツールチェーンを簡素化し、クラウドの利用に対する可視性とコントロールを高め、環境を適切な規模に調整します。



計画外の作業を削減

システムの可視化に加え、監視、トラブルシューティング、インシデント対応のための優れたツールを使用して、コードリリースやシステムアーキテクチャをプロアクティブに改善します。

Splunk Observability Cloud



Splunk Observability Cloudは、このような監視の課題に取り組むことを目的として設計されています。環境やアプリケーションの複雑さを克服し、問題の検出までの時間や解決時間を短縮するのに役立つとともに、複数のツールを統合して可能な限り最高のエンドユーザーエクスペリエンスを提供できるよう支援します。さらに、Observability Cloudと緊密に統合されたSplunk製品を使用することで、すべてのシステムとすべてのデータを1カ所で包括的に可視化でき、チームはワークフローやトレーニング、予算を合理化しつつ、効果的かつ効率的に業務を行えるようになります。

Splunk Infrastructure Monitoring

オンプレミスやハイブリッド/マルチクラウドのあらゆるスタックを、あらゆる規模でリアルタイムに監視します。

Splunk APM

NoSample™による精度の高い分散トレーシングを活用して、マイクロサービスとアプリケーションの問題をトラブルシューティングします。

Splunk Log Observer

クエリ言語に関する知識がなくても、ログをコンテキストに基づいて調査することができます。

Splunk RUM

フロントエンドのユーザーを監視し、エンドツーエンドのユーザーエクスペリエンスを測定できます。

Splunk Synthetic Monitoring

API、ブラウザ監視、Web最適化を利用してカスタマーエクスペリエンスをプロアクティブに改善します。

Splunk On-Call

インテリジェントな自動インシデント対応とコラボレーションにより、オンコールを効率化します。

問題の検出から解決までを数分で完了

Splunk Observability Cloudは、業界で唯一フルスタックに対応したエンタープライズグレードの分析主導型オペレータビリティソリューションです。メトリクス、トレース、ログデータのすべてについて、一貫したユーザーエクスペリエンスを提供し、問題の監視からトラブルシューティング、調査、解決までのライフサイクル全体にわたり、シームレスに統合された単一のワークフローを使用できます。エンドユーザーのエクスペリエンスに関する情報を必要とするフロントエンド開発者であれ、最もパフォーマンスの高いAPIやサービスを構築するバックエンド開発者であれ、日々オンコール対応を行うSREであれ、どのようなユーザーでも、Splunk Observability Cloudが提供するコンテキストに富んだ分析主導型のインサイトで、障害を迅速に解決することができます。また、表面的でない深いインサイトを活用することで、問題にプロアクティブに対処し、発生を未然に防ぐこともできます。

あらゆるインフラ、アプリケーション、ビジネスプロセスに対応

Splunk Observability Cloudは、以下の機能で、製品リリースの品質と速度の向上、開発者の生産性の向上、ダウンタイムの最小化を支援します。

インフラの監視	アプリケーションパフォーマンス監視	デジタルエクスペリエンス監視 (SyntheticsとRUM)	
ログ調査 (Splunk CloudとLog Observer)		インシデント対応	
サービスビューロとクラウド管理 チームと権限 使用レポート API ミラーリングされたダッシュボード			
高精度な NoSample™	リアルタイムのストリーミング	卓越した拡張性	AI/機械学習ドリブンの分析
OpenTelemetry ログ メトリクス トレース			

1) NoSample™による精度の高い取り込み

必要なときに必要なデータを利用できるようにデータを確保し、非常に見つけにくい未知の障害条件でもトラブルシューティングを行うことができます。大量のメトリクス、トレース、ログデータをサンプリングやフィルタリングすることなく送信したり、すでに存在しないインスタンスでも、過去にさかのぼってトレース全体を表示することができます。

2) リアルタイムのストリーミング

MTTRが大幅に短縮します。また、データの構造や形式にかかわらず、重要なパターンを数時間ではなく数秒で検出してアラートを発します。

3) 卓越した拡張性

1日あたり最大数ペタバイトを取り込むような大規模な環境でも、あるいは複数のクラウド環境が1つのシステムに統合されるような複雑な環境でも、パフォーマンスを犠牲にすることなく、あらゆるクラウドネイティブ環境のニーズに対応できます。必要に応じて拡張することも可能で、オブザーバビリティへの投資を将来の成功につなげることができます。

4) AI/機械学習ドリブンの分析

豊富なコンテキストを含むインスタントトラブルシューティングでは、複数のソースから収集したデータがリアルタイムで相関付けられ、インシデントがまさに発生している時点で問題の根本原因が示されます。「Related Content (関連コンテンツ)」を使用すればワンクリックでコンテキスト内のログ、メトリクス、トレースをそれぞれ表示でき、コンテキストに基づいて調査を行えます。100人以上の会議や大規模な緊急会議の必要性がなくなり、すべてのデータを迅速に把握できるため、MTTDとMTTRが劇的に短縮します。また、リアルタイム分析と動的ベースラインを活用して意味のある

パターンを洗い出し、実用的なインサイトをプロアクティブに得ることも可能です。外れ値は自動で特定されるため、トラブルシューティングが迅速化します。カーディナリティには一切制約がなく、テナント別や地域別に問題を切り分けることもできます。

5) オープンスタンダード

データはオープンスタンダードベースで保持され、管理されます。OpenTelemetryは、すべてのテレメトリデータへのアクセスを民主化するだけでなく、組織のベンダーロックインの回避に役立ち、すべてのデータソースのコンテキストも提供します。オプションの軽量エージェントはオープンソースであり、多くの機能をさらに追加できます。

6) コストおよび使用量の管理とベストプラクティスを一元管理

エンタープライズでの使用を念頭に置いて設計された機能により、使用量を完全に透明化して管理することができ、思いもよらない多額の請求を防ぐことができます。ミラーリングされたダッシュボードや、共通ツールをワンクリックで共有する機能は、作業の重複を減らし、企業全体におけるベストプラクティスの一貫した実践を推進します。さらに、Observability as Codeが、ユーザー間に柔軟性と標準化をもたらします。

ユースケース

- クラウドへの移行
- クラウドインフラ監視(ハイブリッド/マルチクラウド、Kubernetesの監視、コンテナの監視、サーバーレスの監視、仮想環境の監視)
- アプリケーションパフォーマンスの監視とトラブルシューティング
- アプリケーションの調査とデバッグ
- SLI/SLOの監視
- リアルユーザー監視
- エンドポイント(API)のアップタイムとパフォーマンス
- 合成トランザクションとAPIのテスト
- アプリケーションライフサイクルの監視
- インシデント対応の自動化

オブザーバビリティはビジネスの成功に欠かせない要素であるにも関わらず、組織の中核機能になっていないことが少なくありません。そこに、デジタルユニシアチブを支援できるSplunkのようなオブザーバビリティソリューションプロバイダーをパートナーとすることの重要性があります。

世界中の20,000人のお客様の信頼を獲得し、フォーチュン100社のうち91社が導入

Splunkのお客様が実現したメリット

45%

優先度の高いインシデントが減少

80%MTTDの短縮による
カスタマーエクスペリエンスの向上**36倍**高速で正確なAIドリブンのアラートを
数分ではなく、数秒で配信**90%**

インシデントの調査時間を短縮

8万ドル

コストの節約

30%

ページの読み込み速度が高速化

96%

機能のリリース速度が向上

70%

開発者の効率が向上



1つのコンポーネントだけでオブザーバビリティを保証することはできません。オブザーバビリティに必要なデータ、つまりメトリクス、トレース、ログすべての相関付けと分析が不可欠なのです。Splunkの統合ソリューションはこれを提供してくれるので、私たちはイノベーションの推進や優れたカスタマーエクスペリエンスの提供に集中できます」

Quantum Metric社エンジニアリングディレクター、
Eric Irwin氏



世界で唯一のData-to-Everythingプラットフォームを基盤とする、セキュリティ、IT、DevOpsのためのオブザーバビリティソリューション、Splunk Observability Cloudについて、詳しくはこちらをクリックしてください。 https://www.splunk.com/ja_jp/observability.html



営業へのお問い合わせはこちら：https://www.splunk.com/ja_jp/talk-to-sales.html
〒100-0004 千代田区大手町1-1-1 大手町パークビルディング 8階

www.splunk.com/ja_jp
splunkjp@splunk.com